

ANQ 2024 総会横浜開催



慶應義塾大学
山田 秀

今期、副会長を拝命しました山田 秀（慶應義塾大学理工学部）です。副会長という立場から、日本品質管理学会（JSQC：Japanese Society for Quality Control）での活動を通して、品質による社会の発展に少しでも貢献したいと思います。本メッセージでは、Asian Network for Quality（ANQ）と2024年9月に開催される総会について説明いたします。

ANQとは、2001年に設立された品質管理、品質マネジメント、Total Quality Managementの理論と実践を追求する非営利の学術団体からなるネットワークです。

<https://anforq.org/index.php>

このネットワークに加盟しているのは、下記の20国、地域を代表する非営利学術団体です。

Bangladesh, China, Taiwan, Dubai, Hong Kong, Indonesia, India, Iran, Japan, Kazakhstan, Korea, Nepal, Pakistan, Philippines, Russia, Sri Lanka, Thailand, Singapore, Malaysia, Vietnam.

例えば、日本からはJSQC、ChinaからはChina Association for Quality, KoreaからはKorean Society for Quality Managementが、Hong KongからはHong Kong Society for Qualityが加盟しています。JSQCは、品質管理分野での世界における主導的な立場から、ANQにおいて常にリーダー的役割を果たしています。2001年9月にANQ設立に向けた準備会合があり、2002年7月に日本を含む7カ国・地域からの非営利学術団体のネットワークとして正式にANQが発足しました。

設立にあたっては、初代議長を務められた狩野紀昭名誉会員、初代事務総長を務められた飯塚悦功名誉会員がリーダーシップを発揮されました。議長の任期は2年であり、2022年までに狩野先生をふくむ10名の議長が選出されています。さらに2023、2024年は、議長組織がJSQCでありANQ議長を私が務めています。

ANQにおける最も大きな行事が、秋に開催される年次大会です。ANQの年次大会は、主催組織によって運営され、主催組織は、持ち回りを原則としています。JSQCは、2002年の設立会合、2009年

総会の主催組織となっています。これらに続き、2024年の主催組織になることが決定しています。

2023年のANQ総会は、2019年秋以来の対面形式にて、ホーチミン市で開催されました。参加者は約200名、JSQCからは50を超える発表がありました。

2024年のANQ総会は、下記日程にて慶應義塾大学理工学部矢上キャンパスで開催します。

2024年9月16日理事会

17、18日研究発表会、19日企業訪問

ANQ年次大会を通して目指すところは、多くの国、地域から品質管理に関する最新、最高の知を集め、活発な議論を通してそれをアジア全体に広げ、ひいては、アジア全体の品質向上に貢献することです。JSQCには、この目的達成のための力を備えているとともにその義務があると考えています。品質管理に関する文化と技術をアジア諸国に広めることにより、アジア全体の繁栄に寄与することは、日本のアジア地域における平和と安全保障のためにもきわめて重要と考えています。

2024年ANQ年次大会のメインテーマは、Prosperity through Quality-The ANQ Wayです。このANQ wayとは、前述のANQのホームページに掲載されています。ANQが目指すところの中核には、Quality of Human Life, Prosperity, Uniqueness, Uniqueness, Customer satisfaction through Competitiveness and Creativityがあります。

製品、サービスのQualityを通じ、顧客、社会に価値を提供することをねらいとしています。企業における戦略立案、設計、生産段階での実装、顧客満足の獲得などを対象とした、理論、概念の開発、そのための手法が含まれます。目指すところやその対象はANQ設立当初から変わりません。その一方、その実現の手段は時代とともに変わってきています。近年の情報技術、AI、DXの活用に鑑み、その応用のための理論、方法なども議論します。

この国際会議を通して、日本を含むアジア地区の実務家、研究者間で有益な議論をすることがANQ年次大会研究発表会の意図です。皆様の積極的なご参加を心待ちにしています。